

平成 24 年度 事務事業事後評価調書（平成 23 年度事業）

整理番号 10 — 29

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	雄武町都市計画図修正印刷事業					
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		都市計画係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
氏名	佐竹邦夫	氏名	永井栄次			
事業の概要	都市計画図及び用途地域図は、都市計画業務において欠かせない図面であり、平成20年度以来、現状(道路・建物等)も変化しており、残り図面も少なくなっていることから、修正・印刷を行うものです。					全体計画 / 単年度のみ (平成 20 年度～ 24 年度)
	事業費	国・道支出金	千円	地方債	千円	その他
実施方法	■直営		民間委託	その他 ( )		一般財源 800 千円
第5期総合計画(前期)		■登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～			
	基本施策	18	住環境の整備			
	単位施策	4	都市計画の推進			
	事務事業の種類	■自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	400 千円	千円	千円	399 千円	千円
	合計	400 千円	千円	千円	399 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民全般、都市計画業務		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	道路・建物等の現状との相違。		修正・印刷枚数	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	現状との相違を解消する。		指標(指標計算式／解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	都市計画業務の向上を図る。		① 修正・印刷枚数／修正・印刷枚数の実績	目標年度 平成23年度 目標値 100 枚 実績値 100 枚 達成度 100.0 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
民間業者による工事の実施	民間業者に発注し、修正・印刷業務を行った。			

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	より正確な現状を反映させるうえで必要であり、町が担う必要がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	当該事業を実施したことにより、都市計画業務の向上が図られた。
有効／概ね有効／課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	修正データを有する民間業者に依頼したことにより、事業費の軽減が図られた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

(4)事務事業の公平性

<b>公平</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益者が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	当該事業は、都市計画業務、道路整備・維持管理業務等、町全般に寄与するものであり、公平であると判断する。
公平／概ね公平／公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適當 等

B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
より正確な現状を反映させるうえで、今後も計画通り事業を進めることが適當と判断する。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
都市計画業務の向上を図るうえで、現状維持が適當である。		

\* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

--